



水と緑の大地 田園空間都市

第五次総合計画の具体的計画

第五次総合計画は、平成19年度から平成28年度までの10カ年を計画期間としています。

計画は、基本構想、基本計画、実施計画の三層からなり、目標達成に向けて「ひとを育み文化を育むまちづくり(教育・文化環境づくり)」、「元気で安心して暮らせるまちづくり(保健・医療・福祉環境づくり)」、「自然にやさしくひとにやさしいまちづくり(環境づくり)」、「安心安全で機能的なまちづくり(都市基盤・生活環境づくり)」、「活力を創造するまちづくり(産業づくり)」、「みんなで築く地域の多様性を生かしたまちづくり(パートナーシップづくり)」の6つを施策の大綱として決めました。

基本計画の実現を図るために、実施計画で、財政状況を踏まえながら平成19年度から平成23年度までの前期5カ年に推進する主な事務事業を掲げています。また、後期5カ年については、その後の財政状況や前期計画の実績などを踏まえて策定するものとします。



いきいきと輝く個性あるまちづくり

平成19年度、本市の将来像を「水と緑の大地 田園空間都市」とした第五次総合計画がスタートしました。今後10年間の施策の推進計画として、「沼田市民憲章」、「森林文化都市宣言」の理念を引き継ぐとともに、合併を契機に地域の特性を生かしながら分権時代に対応した、市民が心の豊かさを実感し将来に向けて夢と希望を持てるまちづくりを進めてまいります。

平成22年秋、上発知町の県立森林公園「21世紀の森」で「第34回全国育樹祭」が開催されることが決まりました。本事業を成功に導くとともに、これを契機とし本市の持つ豊かな大自然や価値ある歴史・文化をより一層内外に発信してまいりたいと考えております。

厳しい財政状況の中、さらに行財政改革を推し進め、多くの都市との交流を推進しながら活性化を図っていくことが必要と考えており、平成19年度から始まった県内東部都市や首都圏地域との交流を軌道に乗せるべく全力で取り組んでまいります。

このグラフを通じて平成19年度を皆さんともう一度振り返り、未来に向け大自然と人々が共生する「うるおい」、「ゆとり」、「やすらぎ」の交流拠点として「いきいきと輝く個性あるまちづくり」を市民皆さんとの協働により進めていきたいと考えております。

沼田市長 星野 已喜雄